

# 第 24 回岡本太郎現代芸術賞 応募用紙

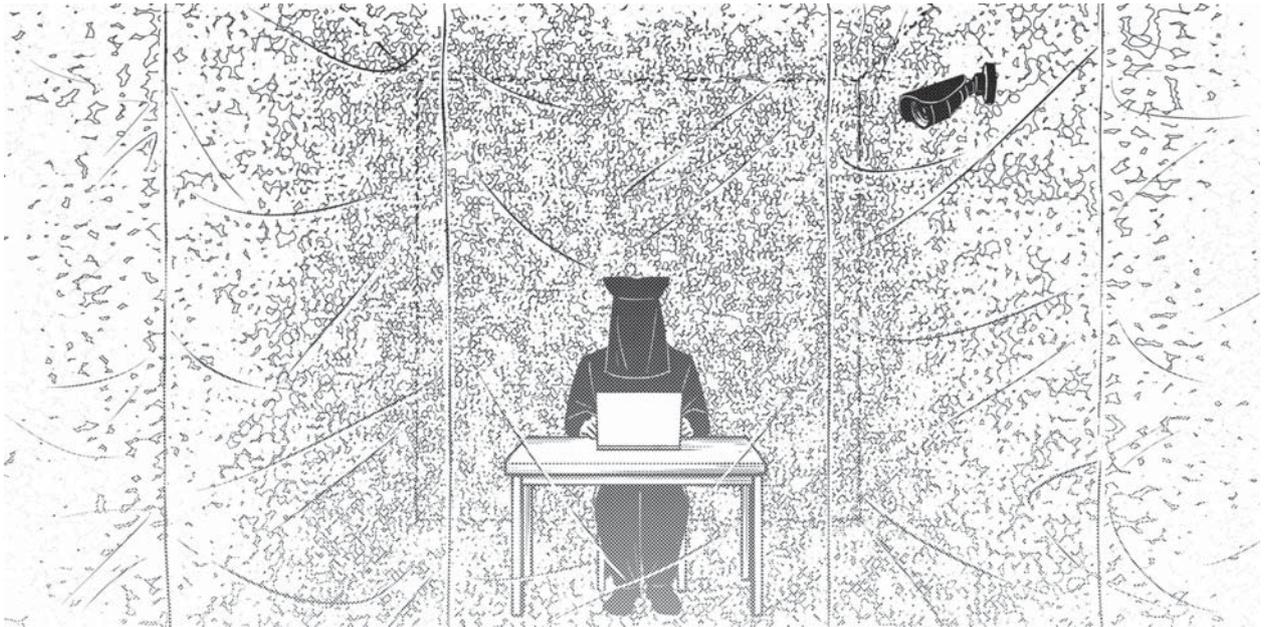
応募番号			
フリガナ	シntax トモニ		
作家名 (団体名/ 代表者名)	新宅 睦仁		生年月日 西暦 1982年 3 月 29 日
フリガナ			職業 自営業
本名 (作家名と異なる場合のみ)			
住所 (自宅)		連絡先	
〒 - 2013 S Vermont Ave UNIT 1, Torrance, CA 90503, USA		TEL (自宅) (携帯)	- - - -
審査結果等送付先 (上記の住所と異なる場合のみ記入)		E-mail info@tomonishintaku.com	
〒 - -		昼間でも連絡が取れる連絡先	
〒 - -		(自宅・携帯) - -	
		(その他)	
応募作品名	現代労働 / Contemporary Work		
ジャンル	<input type="checkbox"/> 平面 <input type="checkbox"/> 立体 <input type="checkbox"/> インスタレーション <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( パフォーマンス ) *☑をつけてください		
技法・素材	米、炊飯器、箸、茶碗、PC、Wi-Fi機器、事務用机・イス、サランラップ		
サイズ (cm)	縦(高さ) 500 × 横(幅) 500 × 奥行き 500	総重量	1000 kg
*インスタレーションの作品は必要スペースを記入して下さい。			
応募方法 添付資料	<input type="checkbox"/> 郵送		<input type="checkbox"/> 応募フォーム
	<input type="checkbox"/> [添付資料] <input type="checkbox"/> 審査結果送付用返信封筒 [必須] <input type="checkbox"/> ファイル (A4、紙に出力したものに限り) <input type="checkbox"/> DVD・CD・USB・SD (映像や音楽等の作品のみ) * 作品そのものの送付はしないでください。 * 添付資料の返却はできません。		<input type="checkbox"/> [添付資料] <input type="checkbox"/> PDF (A4 サイズ 5 枚までを 1 つにまとめたもの / 5MB 以下) * システムのセキュリティ上、PDF 形式以外のファイルは添付できません。
<p>■ この応募用紙の全ての項目を記入し、2020年9月15日までに、川崎市岡本太郎美術館「第24回 TARO 賞係」へ応募して下さい。</p> <p>■ 応募は、「郵送」または「ホームページの応募フォーム」のいずれかにより行うことができます。<b>添付可能な資料はそれぞれ異なりますので、要項の「応募方法」をよくご確認の上ご応募ください。</b></p> <p>■ 応募方法に関わらず、本賞への応募は必ずこの応募用紙を使用して下さい。また応募作品の概要・イメージ等は必ず応募用紙の所定の欄に記載して下さい。</p> <p>■ 郵送での応募の際は、この応募用紙の他に<b>第一次審査の結果送付用の返信封筒</b>(返信先の住所・氏名を記入し、84円切手を貼った定型封筒 12.0×23.5cm相当)を同封して下さい。また、添付資料として、過去の作品の資料等をファイル(A4サイズに限り)で添付できますが、原則として紙に出力したものに限りです。ただし、映像や音楽等の作品のみDVD等の記録媒体は添付可能です。</p> <p>■ 作品中に使用される美術・写真・音楽等については、必ず著作権者の許諾を得た上で応募して下さい。第三者から権利侵害、損害賠償等の主張があった場合、主催者は一切の責任を負いません。</p> <p>■ その他、ご不明な点は事務局にお問い合わせ下さい。</p>			

#### 4 制作意図 (360 文字以内)

現 在 も 続 く コ ロ ナ 禍 の 外 出 自 粛 期 間 を 私  
は 米 国 で 暮 し た 。 友 人 も 家 族 も な い 私 は  
日 々 の 全 て を 一 人 自 室 で 過 ご し た 。 こ の  
災 厄 で 多 く の 人 が 職 を 失 っ た 。 だ が 十 年  
来 W E B デ ザ イ ナ ー と し て 働 い て き た 私  
は 、 オ フ ィ ス か ら 在 宅 勤 務 に な っ た も の  
の 経 済 的 な 影 響 は な か っ た 。 日 が な P C  
を 操 作 し 食 事 は 全 て デ リ バ リ ー を 利 用 す  
る 。 完 全 に 閉 じ た 完 結 し た 生 活 。 本 来 、  
労 働 は メ シ を 食 う た め に あ る 。 確 か に 食  
え て は い る 。 し か し 、 本 当 に 食 っ て い る  
だ け だ っ た 。 人 間 の 労 働 の 極 北 だ と 思 っ  
た 。 私 は そ の 経 験 か ら 自 粛 生 活 そ の ま ま  
を パ フ ォ ー マ ン ス と し て 提 示 す る 。 P C  
と デ ス ク を 会 場 に 持 ち 込 み 、 一 般 公 募 に  
よ る 仕 事 を 一 時 間 あ た り 米 一 合 の 報 酬 で  
請 け 負 う 。 展 示 期 間 中 、 随 時 そ の 米 を 炊  
い て 食 べ つ つ 働 く 。 そ れ は 現 代 に お け る  
労 働 と は 何 か 、 そ の グ ロ テ ス ク な 本 質 を  
む き 出 し に す る の で は な い だ ろ う か 。

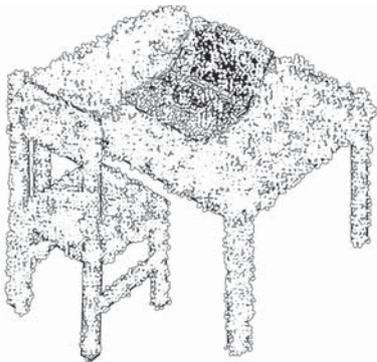
## ◆作品概要説明

作品の写真またはスケッチ等



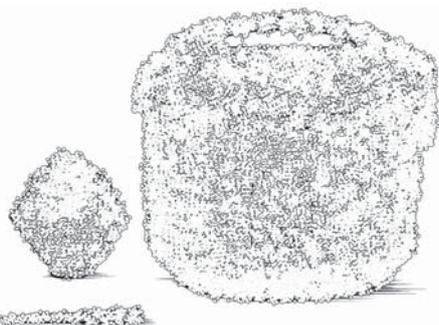
入り口にあたる前面には、食品用サランラップを床から天井まで何重にも張り巡らせ、外部から見ると蚕の繭のような半透明の空間を作る。その内部の全面には生米を貼り付け、米の壁・床・天井とする。その中にデスクとPCを持ち込み、作家本人が全展示期間に渡りデスクワーク(WEBデザイン関連業務)を行う。また、作家が黒子の衣装をまとうことで、現代における労働は、匿名の存在がブラックボックスの中で機械のように処理するものであり、常に他者と置き換え可能な一個の部品に過ぎないことを示す。

作品の形状・サイズ・素材・重量(kg)等／所要空間／所要時間(映像・音楽等の作品の場合)／所要電力量(/)など



使用する事務机とイス、PCには、全面に生米を隙間なく貼り付ける。そうすることで、働くという行為が持つ、人間の生理的欲求としての食べることと、金銭を稼がなければ生きていけないという意味での食うこと、その二重の意味で強迫的な状況下で、日夜、人々は働いているのだということを表す。

ラップで仕切られた内部はおぼろにしか見えないが、ビデオカメラを設置し、リアルタイムで常時ネット配信する。視聴者はネット経由で自由に作家と連絡可能で、現在行っている仕事内容も随時公開する。そうすることで、すぐ目の前の至近距離にいるにも関わらず、PCやスマホを経由しなければアプローチできないコロナ以降の世界を体現する。



作業する机の横には炊飯器、茶碗、箸を設置し、1日3回、炊飯をセットする。炊き上がりのアラームを合図に(約2,3時間ごとに一度)、炊きたての白飯を食べる。これに用いる米は、**事前に一般公募によってデスクワーク(WEBデザイン関連業務)の依頼を受け付け、1時間あたり米一合の対価で労働して得たもの**を用いる。(展示期間中に展示室の内外でこれに類する募集や表示、呼びかけは一切行わない)。つまり金銭を介さず労働と食物をイコールで接続することで、働くために食べるのか、食べるために働くのか、しばしば曖昧になり、無限ループのような閉塞感のある社会状況を擬似的に作り出す。

※このページに収まらない場合は、A4サイズの用紙2枚まで追加可

## ◆作家略歴 / その他

1982年 広島県生まれ

2005年 九州産業大学芸術学部美術学科卒業

2013年 新宿調理師専門学校調理師本科卒業

現在ロサンゼルス在住(本年10月に帰国し広島を拠点に活動予定)

WEBサイト <https://tomonishintaku.com>

### 個展

2018年「COLOUR ME WELL」One East Asia Gallery、シンガポール

2016年「コンビニ弁当の山ーTime is money.」トーキョーワンダーサイト渋谷、東京

2016年「BENTO」ザ・パレスサイドホテル、京都

2016年「コンビニ弁当の山」静岡市クリエイター支援センター (CCC)、静岡

2015年「カップケーキの滝」HAGISO、東京

2014年「牛丼の滝」沢田マンションギャラリーroom38、高知

### グループ展

2019年「アート解放区代官山」TENOH代官山、東京

2019年「Satan's Food Court」Art Share L.A.、ロサンゼルス

2019年「11th Annual 50|50 Show」Sanchez Art Center、サンフランシスコ

2018年「Art Gemini Prize 2018-Finalists' Exhibition」Menier Gallery、ロンドン

2018年「SINGAPORE INTERNATIONAL ARTIST FAIR」Suntec City、シンガポール

2017年「UMU-Q -九州産業大学芸術学部優秀作品展」上野の森美術館、東京

2016年「a3-project / season 2016」MATSUO MEGUMI + VOICE GALLERY pfs/w、京都

2016年「EN / Sawaman Gallery Room 38 exhibition」Verkligheten、スウェーデン

2015年「退廃藝術展2015」DESK/okumura、東京

2015年「美術食堂」ART SPACE ZERO-ONE、大阪

### 受賞・入選

2018年 Art Gemini Prize 2018(ロンドン) ショートリスト選出

2015年 TWS-Emerging 2016 入選

2015年 CCC展覧会企画公募 New Creators Competition 2016 入選

2015年 トーキョーワンダーウォール公募2015 入選

2015年 ワンダーシード2015 入選

2005年 別府アジアビエンナーレ2005 入選

### アートフェア

2018年 ART FAIR ASIA FUKUOKA 2018(福岡)

2018年 Art Jakarta 2018(インドネシア)

2018年 Art Gyeongju 2018(韓国)

2018年 ART FORMOSA 2018(台湾)

2018年 Busan Annual Market of Art 2018(韓国)